



## 尾瀬アヤマ平山行報告

【山行日】2018年10月11日(木) 曇り時々雨  
【集 合】岩舟支所P AM 4:30  
【費 用】マイカー1台 : 3,600円  
【メンバー】CL:鈴木、大西、石澤、関、関口、福島  
【コースタイム】岩舟支所 P4:30 = 鳩待峠  
P6:50/7:00~横田代 8:00~アヤマ平 8:50/9:00~  
富士見田代 9:20/9:25~土場 10:00~竜宮小屋  
11:20/12:00 ~ 山ノ鼻 13:15/13:25 ~ 鳩待峠  
14:20/14:40=道の駅「かたしな」15:05/15:30=  
岩舟支所P17:15

アヤマ平からの眺望と長沢新道の紅葉、尾瀬ヶ原の草紅葉を見たいと今回の山行を計画した。平日なので戸倉からのタクシーは遅く、6時30分発のバスに合わせて岩舟支所を4時30分に出発する。戸倉の鳩待峠への交差点に「鳩待峠へ通行可」の看板があり、そのまま車で鳩待峠に向かう。沢沿いの道は紅葉がとても美しく、「ウワ~これを見るだけでも良いね」と喜んでいて。天気がいまいちの予報なので、鳩待峠の駐車場は空いていてトイレの近くに止められた。係の方に駐車料金を支払い、準備を整えて鳩待峠休憩所まで歩いて行く。トイレを済ませ、ストレッチを行ってから登山ポストに計画書を入れて出発する。木の階段を登り、ブナの樹林帯の中広い登山道を進む。

いきなりの急登で、歩きはじめにはきついがゆっくりと体調を整えながら登る。ガスと風が強く、梢に付いた水滴が風に飛ばされ雨のように落ちてくる。しばらく登ると樹相が広葉樹から針葉樹に変わり、木道が時々現れるようになる。この後もほとんど展望のない樹林帯を、ひたすら緩やかに登るトレイルが続く。樹林が低くなり風を強く感じるようになると、突然視界が開け横田



代に到着する。

この田代は大きな傾斜湿原だが、ガスで視界が悪く木道の周りがかろうじて見える程度だ。ベンチがあるが休まず進み、シラビソなどの針葉樹がまばらに茂る坂道を登って行く。小さなピークを越え、少し下って登りついた頂上が中原山頂上だ。標高1969mの山頂は、このコース随一の展望が得られるが、あいにくのガスで何も見えない。ササ原の中を緩く下って登り返すと、アヤマ平に到着する。



広い湿原で300m近く木道が続き、湿原の中ほどにアヤマメ平の標識と大きなベンチが設置されている。記念写真を撮り、風が強いので早々に富士見峠に向かう。湿原帯を過ぎると尾根も痩せて来る。



木道を下るようになり滑らないよう慎重に下る。富士見峠手前から左に下り、富士見田代と呼ばれる小湿原で休憩を取る。風も弱くなりようやく記念写真撮り、ナンや菓子を食べて体を休める。ここからは樹林帯の中を緩やかに下り、風も弱くなって暖かく感じる。少し傾斜が増してきて、20分程下ると再び傾斜が緩くなり「土場」と書かれた標識が立つベンチに着く。この先、長沢ノ頭まで緩やか下り、ここからは急傾斜の道をジグザグに下るようになる。樹相も針葉樹から広葉

樹に変わり、カエデやコシアブラの紅葉がとても美しい。急な岩の下りには木の階段が取り付けられ、以前からするととても歩き易くなっていた。赤や黄色の紅葉を楽しみながら下ると樹間が開け、陽に照らされた尾瀬ヶ原が見えてくる。傾斜が次第に緩んできて、木橋で長沢を渡った所で小休止する。ミカンや菓子を食べて、紅葉を写真に収めたら竜宮へ向かう。ブナやダケカンバの道を行き、小沢を渡って山裾に沿って進むと尾瀬ヶ原の一角に飛び出る。



木道を真っ直ぐ進むと竜宮十字路に出て、右

に少し歩くと龍具小屋に着く。小屋の前のベンチとテーブルを借りて、ランチタイムとする。今日の山ご飯は焼きそばとけんちん汁、出汁巻き卵も出て豪華なランチだ。我輩が大好きなタマゴサンドも

食べ、大満足の昼食だった。お腹がいっぱいになったら、トイレを済ませ山ノ鼻に向かって尾瀬ヶ原を縦断する。雲の切れ間から陽が差して、山際の白樺や紅葉を照らし絵葉書を見ているようだ。あいにく燧ヶ岳や至仏山は山頂が雲に覆われているが、景鶴山や歩いて来たアヤマメ平の稜線は時折陽が差しとても美しい。

尾瀬ヶ原の草紅葉と、池塘に浮かぶヒツジ草の紅葉を楽しみながら歩くが、人が多くのんびりと歩けない。竜宮から1時間30分歩き山ノ鼻に到



着し、休憩を取って最後の登りに備える。1時間20分の登りを55分で一気に登り、鳩待峠の駐車場に着いた。あいにくの天気だったが、紅葉や草紅葉を楽しみながら歩け、皆さんには充実した山行になったようだ。バスに乗らない分1500円安くなり、野菜直売所や道の駅「かたしな」でお買い物し、女性達にとってはさらに充実した山行となった。